

# Governance

DOWAグループは、社会から信頼される企業であり続けるために、コーポレート・ガバナンスの強化を重要な経営課題の一つと位置付け、「DOWAグループの価値観と行動規範」に基づき、取り組んでいます。

## CSR方針

- 開かれた会社、透明感のある会社を目指す
- 国際的な取り組みに配慮し、贈収賄などの腐敗防止に努める
- CSRに配慮した調達を行う

## 重点施策

## CSR調達推進

### Q・C・D+Sustainability

DOWAグループのCSR調達の特徴は、Q(品質)・C(コスト)・D(納期)といった従来型の調達に「S(Sustainability:持続可能性)」を加えたことにあります。この「S」は、人権への配慮や環境保全などの社会的責任に対する取り組みを意味しています。

 [http://www.dowa-csr.jp/about/csr\\_procurement.html](http://www.dowa-csr.jp/about/csr_procurement.html)

### お取引先との協働

DOWAグループでは、CSR活動におけるお取引先の取り組み状況を継続的に把握・評価するため、セルフチェックリストによるアンケートを実施しています。

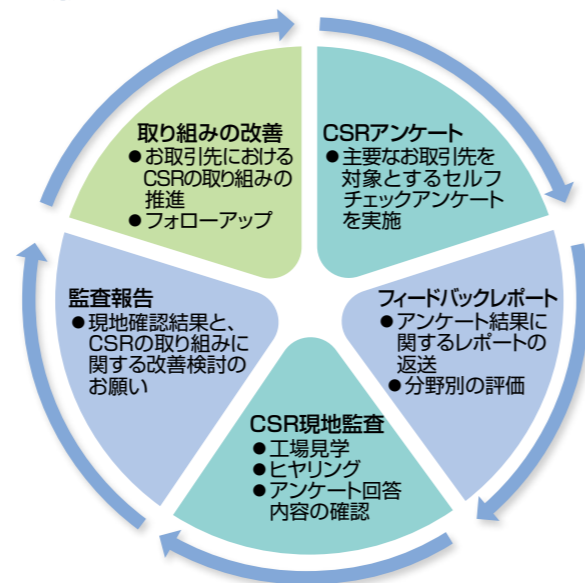
セルフチェックリストは、自社のCSRの推進の仕組みと実態把握について、お取引先自身が自己評価を行うものです。結果についてはフィードバックレポートを送付し、CSRの取り組みが不十分と考えられる項目があるお取引先には、より積極的に取り組んでいただくよう要請しています。

さらに、事業上特に重要なお取引先、あるいは自己診断の結果が基準に達しなかったお取引先には、訪問確認を実施しています。セルフチェックの結果をもとに、ヒヤリング・書類確認・工場視察を

通じて確認を行い、ガイドラインを満たさない状況が見られた場合には改善・要望・検討の3段階の指摘を行います。監査後のミーティングでは、結果説明と質疑応答を経て監査結果の合意を図りますが、課題を指摘して改善を要望するだけでなく、適切な仕組みや優れた取り組みなどについては評価も行っています。

この訪問確認では、環境安全部門、調達部門で構成したチームが監査を行います。対象となる資材を使用する当社工場の担当者もメンバーとして参加することで、お取引先との信頼関係の強化とCSR調達活動のさらなる社内浸透を図っています。

#### ■CSR調達のPDCAサイクル



#### ■セルフチェックの6分野

- |              |  |
|--------------|--|
| 1 法令遵守・公正取引  | <ul style="list-style-type: none"> <li>1) 人権・労働</li> <li>2) 安全衛生</li> <li>3) 環境保全</li> <li>4) 社会・地域貢献</li> </ul> |
| 2 最適な品質と適正価格 |  |
| 3 安定供給体制の構築  |  |
| 4 サステナビリティ   |  |
| 5 情報の保護      |  |
| 6 管理システム     |  |

### 石灰鉱山の現地訪問確認

当社の工場の多くが調達している「消石灰」は、水処理や排ガス処理などの環境保全対策に使用されている大切な資材の一つです。消石灰の原料となる石灰石は日本で自給できる数少ない資源であり、国内鉱山からの調達が可能です。

2016年11月、CSR調達ガイドラインに基づく現地確認を行うため、取引先である宮城石灰工業株式会社様の石灰鉱山を訪問しました。

鉱山の操業では周辺環境の保全と労働者の安全確保が重要と考えられます。このため、環境と安全、それらの管理システムに重点を置いた監査を実施しました。

また、災害時における事業継続では、連絡網の策定や衛星電話の設置などの緊急対策のほか、遠隔地に立地する他社鉱山との提携を進めているなど、確実な安定供給に取り組まれていることを把握しました。



オープニングミーティングの様子



露天採掘でのベンチカット採掘法により、石灰石が採掘・生産されています

このようなアンケート結果からは把握できないCSR活動の実施状況を確認することは、リスク管理の面からだけでなくサプライチェーンの信頼性を高めるためにも重要だと考えています。また、CSR調達の実践を通じて当社が学ぶべき点は多く、現地監査から新たな気づきを得ることも多くあります。

監査にはお取引先の理解と協力が欠かせません。目指すべき方向性を共有し、CSR調達の必要性についても理解を深めていただけるよう、昨年度の監査より当社の調達方針やガイドラインの説明に加え、背景となる国際社会の動向や社会課題などについての解説も始めました。

今後もお取引先の皆さまと協力しながら、ともに学び、よりよいサプライチェーンの構築を目指して取り組みます。

ヒヤリングと書類確認では、保安計画や保安方針の策定状況、環境管理の記録などのチェックを行いました。サイトでは排水処理や粉じん対策、危険物の管理などについて適切な対策が取られていることを確認しました。特に粉じんの飛散対策では、地元企業と協力しあい道路清掃車を使用した周辺地域の清掃活動を行うなど、地域に根ざした取り組みをされていることを知りました。

活動の進捗状況

企業統治分野における2016年度の活動状況と、2017年度の計画は以下のとおりです。

2016年度 実績

企業統治重点施策	課題	指標	評価	主な実績
内部統制・ガバナンスの強化	内部統制ハンドブックの展開	経営幹部層・担当者への説明会参加者数140人以上 翻訳版の配布	○ ○	160人 英語版配布
コンプライアンス、リスクマネジメントの強化	国内外各社の内部統制活動の支援	国内外10社	○	11社
CSR調達推進	サプライヤーCSR監査 CSR監査手順書の作成	6社以上 -	○ ○	監査実施:9社 CSR監査手順書を作成

2017年度 取り組みと目標

内部統制・ガバナンスの強化	内部統制に関する説明会の実施	➡	経営幹部層・担当者への説明会参加者数140人以上
コンプライアンス、リスクマネジメントの強化	国内外各社の内部統制活動支援	➡	国内外10社
CSR調達推進	回答しやすいアンケート作り 調査範囲の拡大	➡	設問項目の見直し 製造以外の業種で重要な調達先への展開

TOPICS

日本証券アナリスト協会  
「ディスクロージャー優良企業」

DOWAグループは日本証券アナリスト協会による「平成28年度ディスクロージャー優良企業選定」において、「高水準のディスクロージャーを連続維持している企業」(鉄鋼・非鉄金属部門)に選定されました。本選定は、企業情報の開示向上を目的に平成7年度から毎年開催されている表彰制度で、決算情報など企業により公開される情報の質・量・タイミング・開示姿勢などを評価するものであり、今回当社が数年にわたり安定的に高い水準を維持してきたことが評価され、同賞を受賞しました。今後も公正かつ適時・適切な情報開示を通じ、DOWAグループへのご理解を深めていただけるよう、ディスクロージャー品質の向上に取り組めます。



DOWAグループIR情報  
<http://www.dowa.co.jp/jp/ir/index.html>

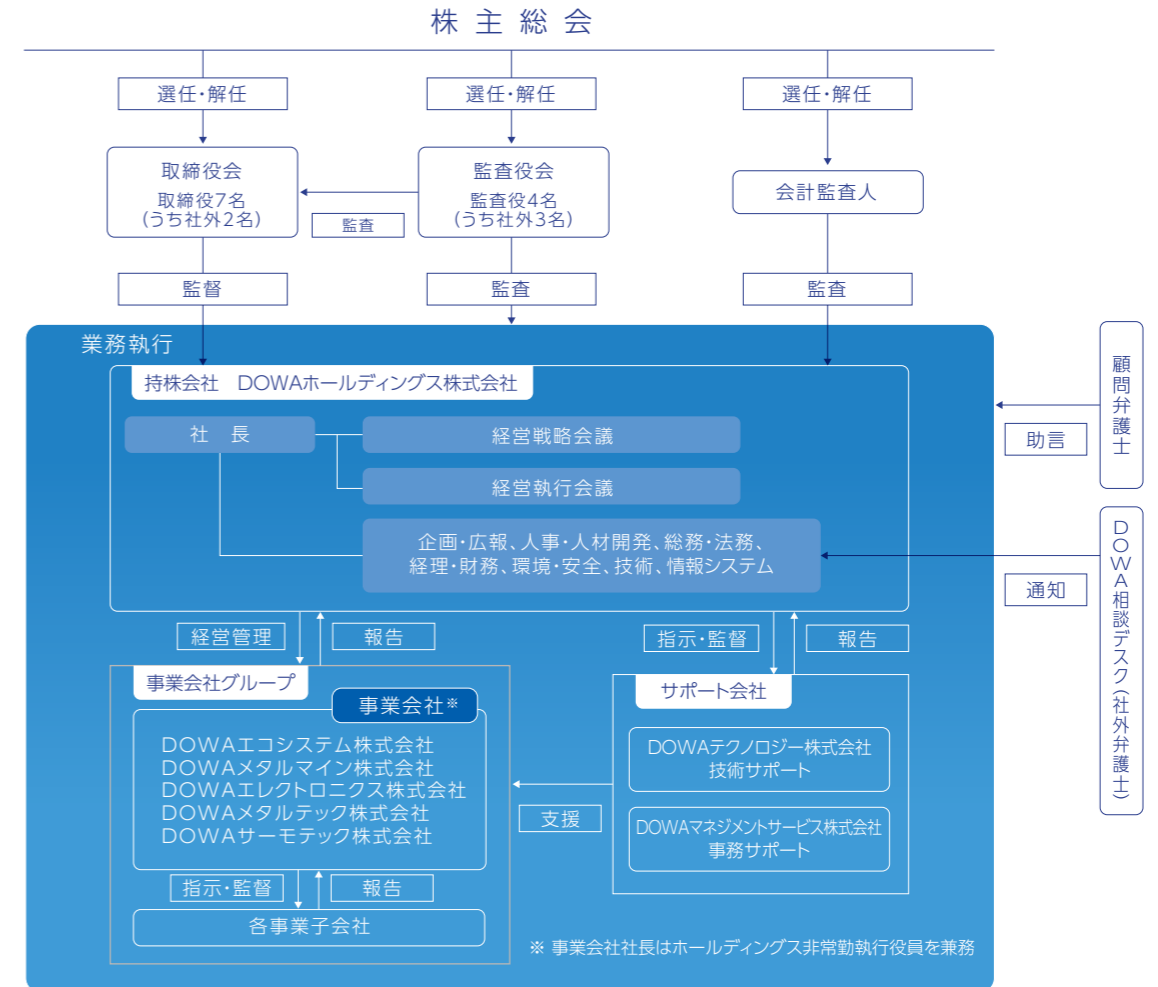
01 コーポレート・ガバナンス

DOWAグループは、「DOWAグループの価値観と行動規範」に則り、健全な企業経営を保証し、経営の品質と効率を高めるとともに、透明性の高い開かれた経営の実現に努めています。

詳細は当社のコーポレート・ガバナンスに関する報告書をご覧ください。  
[http://www.dowa.co.jp/jp/about\\_dowa/governance.html](http://www.dowa.co.jp/jp/about_dowa/governance.html)

■コーポレート・ガバナンス体制

DOWAグループでは、健全かつ効率的に組織を運営すると同時に、意思決定の迅速化と経営の効率化のため、執行役員制を採用するとともに、持株会社制を導入して事業部門を子会社に分離しています。  
また、(1)監査役会の設置、(2)社外取締役の選任により、経営の健全性の確保を図っています。



02 内部統制活動

DOWAグループではコーポレート・ガバナンスの強化を図るため、ホールディングス(持株会社)とグループ各社が内部統制の基本方針や基本システムを共有するとともに、具体的な活動において各社ごとの独自性を活かせるようにすることで、持株会社制に合わせた効果的かつ効率的な内部統制を図っています。

■内部監査

DOWAグループが定める内部監査規則に基づく内部監査は、会計監査や法務監査、安全環境監査など企業活動全般に関わり、CSR部門および各関連部門とグループ各社の連携のもと、実施しています。また、監査結果については取締役、監査役および関係部署に報告しています。2016年度は、内部統制の強化の一環として国内7拠点、海外1拠点で説明会、12社で内部監査を実施し、海外は欧州・東南アジア・中国の9社において内部監査を実施しました。

内部統制システムに関する基本方針およびその運用状況については、当社のアニュアルレポートをご覧ください。  
<http://www.dowa.co.jp/jp/ir/library/annual.html>

03

## コンプライアンス

DOWAグループにおいて、「遵法」については、企業経営の基本をなすものと位置付け、「DOWAグループの価値観と行動規範」に基づき、内部統制の強化や教育を核とした対策に取り組んでいます。また、DOWAグループ各社が毎年の内部監査(法令監査)に対応することにより、コンプライアンスに対する意識の向上を図っています。

04

## リスクマネジメント

DOWAグループでは、企業理念の実現、経営計画を達成する上で阻害要因となるリスクを適切に管理し、社会的責任を果たし、かつ持続可能な企業価値の向上に資することを目的として、リスクマネジメントに取り組んでいます。グループを取り巻くリスクのうち、「事業リスク」は取締役会などが、「CSRリスク」はCSR部門が各部門と連携して対応します。

### ■ 事業継続計画(BCP)の取り組み

DOWAグループでは、大規模地震や台風、集中豪雨による洪水などの自然災害に対応する事業継続計画(BCP)を地域・事業所別に策定し、非常時における事業活動継続のためにリスクを回避する取り組みを行っています。定期的にBCPの見直しを実施しており、2016年度は15社の事業子会社がBCPの想定対象や対策について見直しを行いました。また、年1回、全社防災訓練を実施し、全社、事業会社、事業部の各階層における緊急対策本部の立ち上げ、従業員の安否確認、各緊急対策本部間の被害状況の報告連絡といった初動対応能力の維持・向上を図っています。

### ■ サプライチェーンにおけるBCP策定調査

BtoBビジネスを主とするDOWAグループにとって、サプライチェーンの途絶は納入先であるお客様の生産・販売へ与える影響が大きいため、CSR調達を通じて、主要なお取引先には災害発生時の速やかな事業復旧・継続に関するBCPの策定状況を確認しています。未策定のお取引先には、取り組みの重要性をご説明し、BCP対策の強化をお願いしています。

05

## 政府・自治体・産業界との関わり

DOWAグループは、政府や産業界における審議会やフォーラムに参加し、社会課題の解決に向けた提案や施策の検討、法制度の制定・見直し、国際的な連携など、公共政策に関する活動を推進しています。

### ■ 参画例

DOWAホールディングス代表取締役社長 山田 政雄

2013年 2月～ 環境省 中央環境審議会 委員

2012年12月～ (社)日本経済団体連合会 環境安全委員会 廃棄物・リサイクル部会 部会長

また、日本および各国の政府機関が開催する国際会議などに積極的に参加し、産業界の立場から各種政策策定に貢献しています。

### ■ 相談窓口

企業活動に伴うリスクの早期発見を促し、従業員にとってより安心して快適な職場環境を目指すため、顧問弁護士に直接相談できる「DOWA相談デスク」を設けています。通報などに関する秘密保持と通報者が不利益な扱いを受けないことが保証されており、イントラネットやポスターなどを通じ周知を行っています。また、お取引先や協力会社とのより健全なパートナーシップを構築するため、社外にもこのDOWA相談デスクの窓口を開放し、お取引先や協力会社の従業員も利用できるようにしています。窓口では、寄せられた相談や意見に関わる秘密を守り、迅速かつ適切に対応しています。

06

## 国際機関・国際コンソーシアムへの参画

DOWAグループは、2009年より国連が提唱する企業の自主行動原則である「グローバル・コンパクト」に参加しています。社会の持続的発展に向けて、グローバル・コンパクトの掲げる「人権・労働・環境・腐敗防止」の4分野における10原則を尊重し、確実に実践していくよう取り組んでいます。CSR調達方針やガイドラインなどの策定においても、人権の尊重や児童労働の排除など、グローバル・コンパクトの原則を反映させています。

### グローバル・コンパクトの10原則

#### 人権

- 1 企業はその影響の及ぶ範囲内で国際的に宣言されている人権の擁護を支持し、尊重する。
- 2 人権侵害に加担しない。

#### 労働

- 3 組合結成の自由と団体交渉の権利を実効あるものにする。
- 4 あらゆる形態の強制労働を排除する。
- 5 児童労働を実効的に廃止する。
- 6 雇用と職業に関する差別を撤廃する。

#### 環境

- 7 環境問題の予防的なアプローチを支持する。
- 8 環境に関して一層の責任を担うためのイニシアチブをとる。
- 9 環境にやさしい技術の開発と普及を促進する。

#### 腐敗防止

- 10 強要と賄賂を含むあらゆる形態の腐敗を防止するために取り組む。



グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン  
http://www.ungc-jn.org/index.html

07

## 人権への取り組み、腐敗防止

DOWAグループは、国連グローバル・コンパクトの10原則のもと、国籍、人種、民族、宗教、性別、年齢、障がいなどによる不当な差別や児童労働、強制労働を禁じ、腐敗防止に取り組んでいます。

DOWAグループ内の人権の配慮状況については、海外事業所を含む事業子会社に対し毎年アンケート調査を実施し、現状把握に努めています。また、国内の事業子会社では、人権への理解を深め、さらに職場での実践につなげるため、メンタルヘルス・パワハラ防止セミナーを開催するなど、従業員の人権教育にも取り組んでいます。

### ■ サプライチェーンを通じた人権への取り組み

サプライチェーンを通じて、お取引先の方々とともに人権への取り組みを進めるため、CSR監査などの訪問時には当社のCSR方針やガイドラインを共有するだけでなく、海外での児童労働や違法労働などの人

権を取り巻く状況についての説明を行っています。日本国内では身近に感じにくい人権の問題ですが、社会課題となる背景や企業との関わりについてご理解いただけるよう取り組んでいます。